

京阪萱島駅周辺地区交通バリアフリー基本構想策定

第1回連絡会議並びに作業部会資料

< 寝屋川市及び京阪萱島駅周辺地区の概要について >

目次

1 . 寝屋川市の位置及び面積	1
2 . 人口・世帯数	1
3 . 高齢者・身体障害者等	2
4 . 市内の公共交通	3
5 . 市民の利用する主要な施設	7
6 . バリアフリーなどに関する市民のニーズ	8
7 . 寝屋川市の将来計画と京阪萱島駅周辺地区の将来方向	10
8 . 交通バリアフリー基本構想検討にあたっての地区の概況	12

2004年9月1日

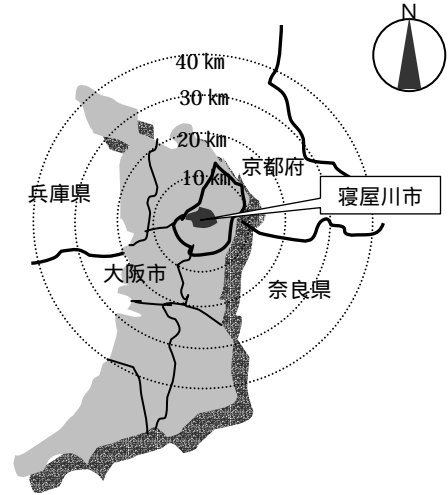
寝屋川市まち政策部都市計画室

1. 寝屋川市の位置及び面積

本市は、大阪府の東北部、淀川左岸にあり、大阪市の中心部まで約 15 km、鉄道で約 20 分～30 分のところに位置した面積 2,473ha の都市です。

市の東部は、生駒山系が緑豊かな自然環境を、市の西部は、淀川が水と緑のアメニティ豊かな環境を形成しています。

図 寝屋川市の位置



2. 人口・世帯数

(1) 人口・世帯数の推移

本市は昭和 26 年(1951 年) 5 月に人口 31,061 人の都市として市制を施行し、平成 13 年(2001 年) には市制施行 50 周年を迎えました。

市制施行当時は、市内のいたるところに田や畑が広がるのどかな風景も多くみられました。

しかし、その後、昭和 30 年代後半から 40 年代の高度経済成長期に大阪市の衛星都市として、みるみるうちに

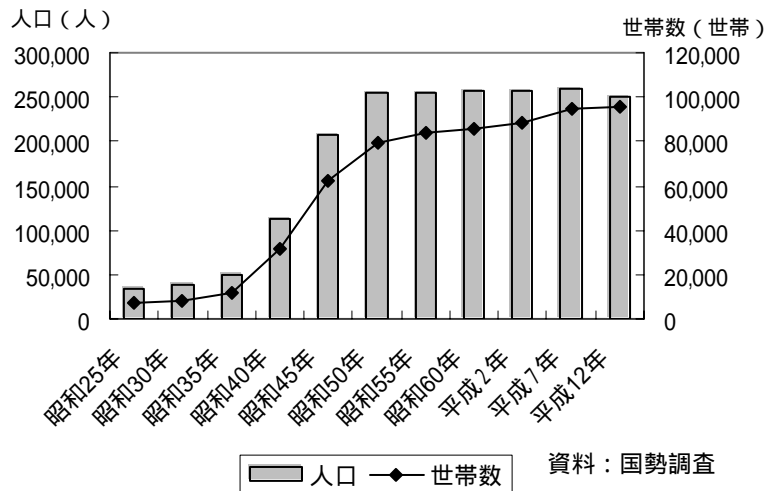
市街化が進み、昭和 35 年(1960 年) の国勢調査では約 5 万人、1 万 2 千世帯でしたが、昭和 45 年(1970 年) には約 20 万 6 千人、6 万 2 千世帯となり、実にこの 10 年間に人口は約 4 倍、世帯数は約 5 倍になりました。

その後も人口・世帯数は増加し、昭和 60 年(1985 年) の国勢調査では、人口約 25 万 8 千人、世帯数 8 万 5 千世帯となりました。

その後、世帯数は増加していますが、最近では人口が減少する傾向にあり、平成 7 年の国勢調査で 258,443 人であった人口が、平成 12 年では 250,806 人となり、この 5 年間で 7,637 人減少しています。

なお、世帯数は平成 7 年では 94,345 世帯でしたが、平成 12 年では 95,313 世帯となり、968 世帯増加しています。

図 人口及び世帯数の推移



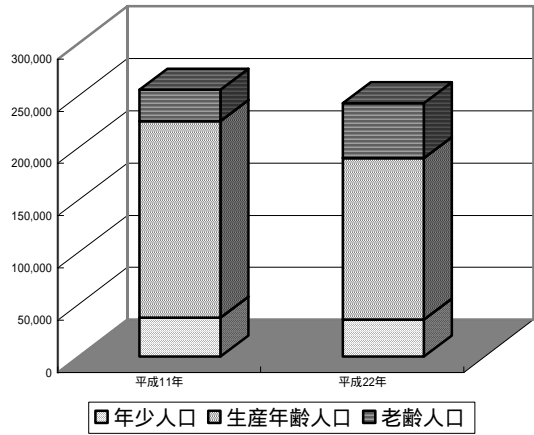
(2) 将来の人口

本市の将来人口について、「第四次寝屋川市総合計画」では、下表、右図に示すように推計*しています。

この推計結果では、平成 11 年現在の総人口 255,357 人に対して、平成 22 年では、現在（平成 11 年）よりも約 1 万 3 千人減少し、総人口 242,397 人になると推計しています。

*平成 5 年と 10 年の各 10 月 1 日現在の住民基本台帳記録人口をもとに算出した推計値

図 年齢 3 区分別将来人口の推計



資料：第四次寝屋川市総合計画より

表 寝屋川市の年齢 3 区分別将来人口の推計（第四次寝屋川市総合計画より）

	平成 11 年 (実績)		平成 22 年 (推計)	
	男性	女性	男性	女性
年少人口 (0 ~ 14 歳)	19,060 人	18,088 人	18,263 人	17,360 人
	37,148 人 (14.5%)		35,623 人 (14.7%)	
生産年齢人口 (15 ~ 64 歳)	95,120 人	93,073 人	77,708 人	76,961 人
	188,193 人 (73.7%)		154,669 人 (63.8%)	
高齢人口 (65 歳以上)	12,879 人	17,137 人	22,907 人	29,198 人
	30,016 人 (11.8%)		52,105 人 (21.5%)	
総人口	127,059 人	128,298 人	118,878 人	123,519 人
	255,357 人 (100.0%)		242,397 人 (100.0%)	

3 . 高齢者・身体障害者等

(1) 高齢者

本市の将来の高齢者人口について、前述した「第四次寝屋川市総合計画」において推計した結果からみると、平成 11 年現在の総人口 255,357 人、老齢（65 歳以上）人口 30,016 人に対して、平成 22 年では、総人口 242,397 人、老齢（65 歳以上）人口 52,105 人になると推計しています。

このように、概ね 10 年後の平成 22 年の老齢人口は、現在（平成 11 年）よりも約 2 万 2 千人増加し、総人口に占める 65 歳以上の老齢人口の割合は、現在（平成 11 年）の 11.8% から 21.5% と約 10% 増加すると推計しています。

(2) 障害者

平成 16 年 8 月 1 日現在の本市の身体障害者手帳所持者は 7,313 人となっています。

なお、平成 16 年 8 月 1 日現在の住民基本台帳人口は 248,647 人で身体障害者手帳所持者

は人口の約3%となっています。

身体障害者手帳所持者のうち29.0%が1級、19.0%が2級の所持者となっており、重度の身体障害者の比率が高くなっています。

表 身体障害者手帳所持者数（平成16年8月1日現在）

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
視覚	17	30	9	11	15	8	90
視覚障害	173	152	37	41	52	49	504
音声*言語	1	-	2	6			9
音声*言語*そしゃく	2	6	45	24			77
聴覚	92	196	82	107	2	220	699
肢体不自由	159	170	54	46	25	21	475
下肢	95	197	295	722	211	76	1,596
上肢	335	336	184	176	100	90	1,221
体幹	108	222	165	9	78	1	583
脳原生移動	20	12	4	2		1	39
脳原生上肢	6	3	4	2			15
平衡機能			1		3		4
片麻痺	15	39	45	1	11		111
心臓	486	13	194	211			904
腎臓	526	2	16	2	-	-	546
呼吸器	87	2	58	30	-	-	177
ぼうこう		1	8	59	-	-	68
小腸	3	1	1	8	-	-	13
直腸			11	165			176
内部障害		4	1				5
不明		1					1
合計	2,125 (29.0%)	1,387 (19.0%)	1,216 (16.6%)	1,622 (22.2%)	497 (6.8%)	466 (6.4%)	7,313 (100.0%)

4. 市内の公共交通

本市の主要な公共交通は、市内中央部を南北に通過する京阪電車と東部を南北に通過するJR片町線などの鉄道と鉄道の駅を中心にサービスしている乗合バスです。

(1) 鉄 道

鉄道は、市内に京阪電車の「香里園」「寝屋川市」「萱島」の3駅とJR片町線の「東寝屋川」駅があります。

これら鉄道駅の乗降客について、平成10年と平成14年の推移をみると次表のようになっています。京阪電車、JRの各駅ともに乗降客は減少しています。京阪萱島駅の平成14年の乗降客は1日平均29,640人/日となっています。

図 寝屋川市及び周辺の主要な交通網と鉄道駅

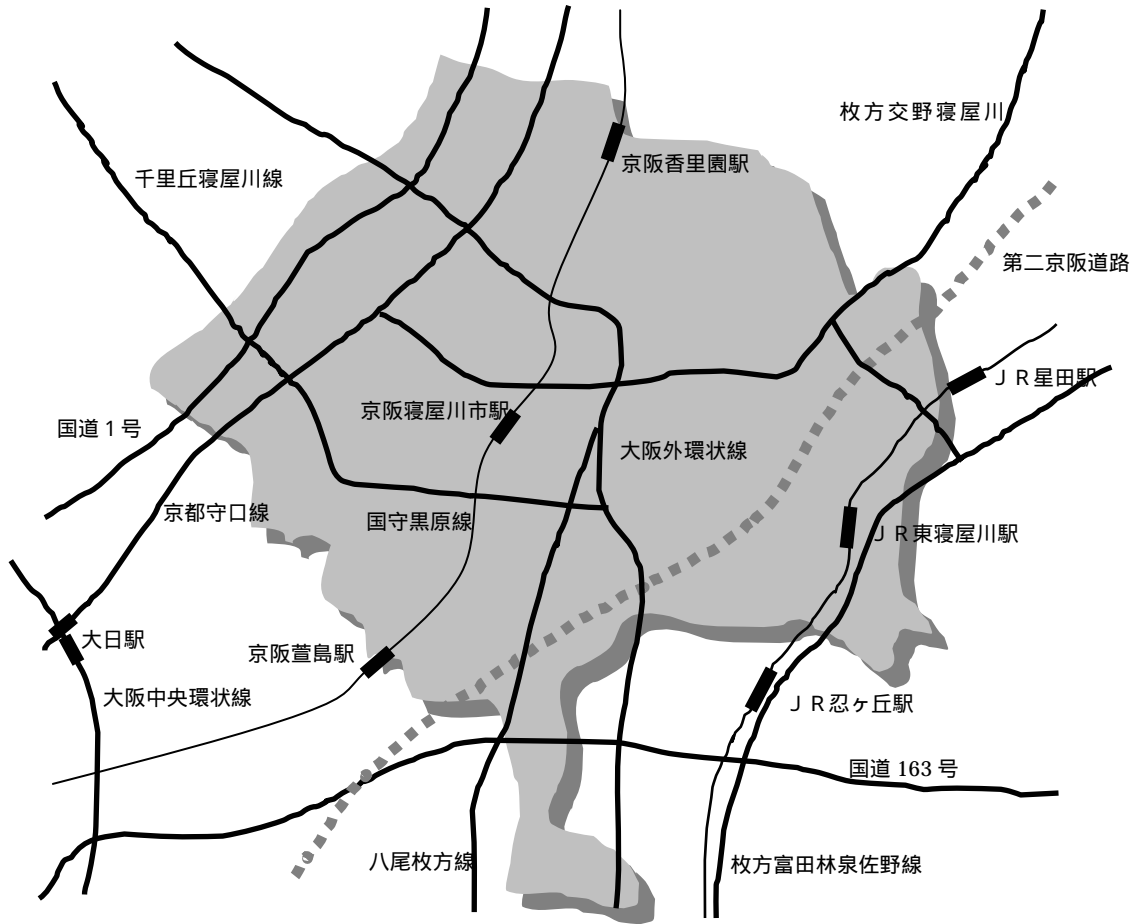


表 市内鉄道各駅の1日当たり乗降客数 (人/日)

	平成10年			平成14年		
	総数	定期	定期外	総数	定期	定期外
京阪香里園駅	70,407	45,252	25,155	64,781	37,617	27,164
京阪寝屋川市駅	81,140	51,840	29,300	76,921	46,608	30,313
京阪萱島駅	34,717	22,520	12,197	29,640	17,832	11,808
JR東寝屋川駅	10,696	7,502	3,194	10,000	6,996	3,004

資料：京阪電気鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社

また、市内各駅の定期券旅客について、初乗り（市内の居住地から市外の通勤・通学先へ）及び最終降車（市外の居住地から市内の就業地・学校へ）客の端末交通手段をみると次表のようになっています。

京阪萱島駅では、初乗りでは、5割強が徒歩で、4割弱が自転車で駅へ行っています。最終降車では、約9割が徒歩で、1割弱が自転車で駅から駅周辺の目的地に行っています。

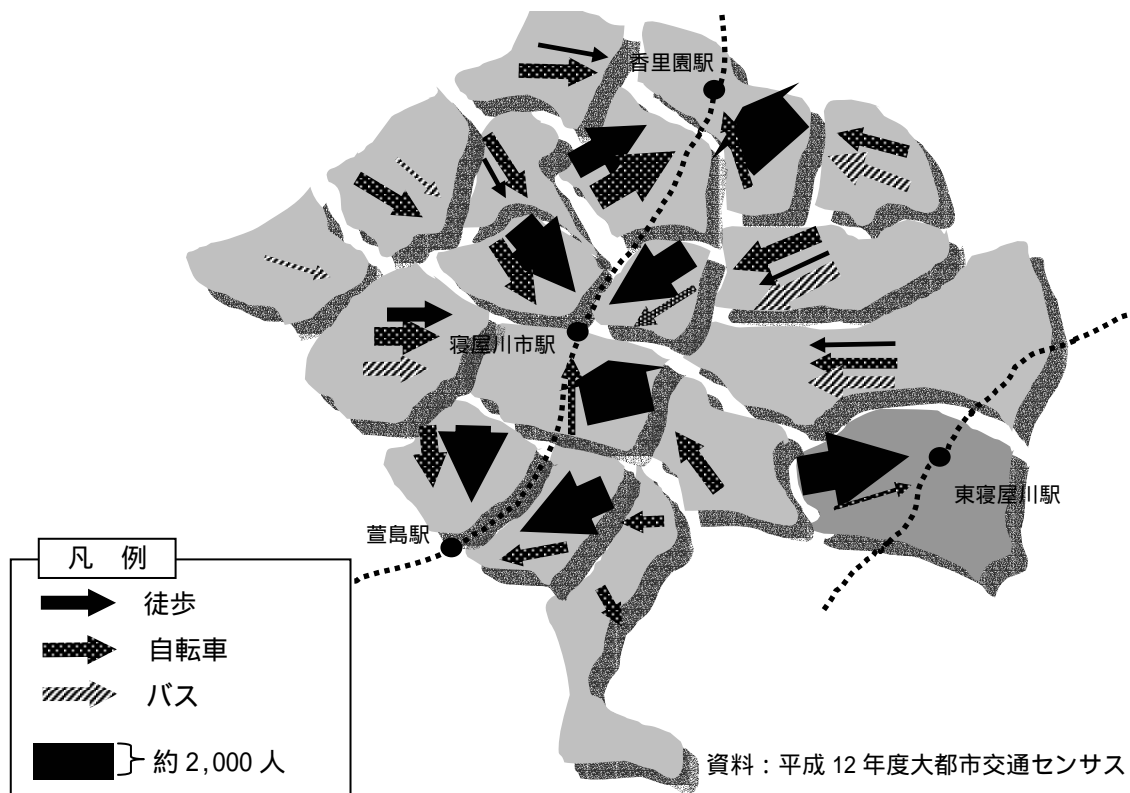
表 市内各駅の定期旅客の端末交通手段

上段：人 下段：%

		合計	徒歩	自転車	バイク	車 (送迎)	車(そ その他)	送迎 バス	バス	タクシ ー	その他	不明
香里園	初乗り	19,611 100.0%	8,953 45.7%	4,060 20.7%	574 2.9%	296 1.5%	90 0.5%	-	5,463 27.9%	13 0.1%	0 0.0%	162 0.8%
	最終降車	4,657 100.0%	3,943 84.7%	207 4.4%	15 0.3%	0 0.0%		13 0.3%	353 7.6%	0 0.0%	0 0.0%	126 2.7%
寝屋川	初乗り	19,810 100.0%	7,144 36.1%	7,536 38.0%	736 3.7%	391 2.0%	36 0.2%	-	3,742 18.9%	24 0.1%	23 0.1%	178 0.9%
	最終降車	15,037 100.0%	9,848 65.5%	2,684 17.8%	98 0.7%	0 0.0%		200 1.3%	1,851 12.3%	13 0.1%	13 0.1%	330 2.2%
萱島	初乗り	10,844 100.0%	5,769 53.0%	4,214 38.7%	206 1.9%	96 0.9%	40 0.4%	-	304 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	255 2.3%
	最終降車	2,089 100.0%	1,855 88.8%	127 6.1%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	25 1.2%	0 0.0%	16 0.8%	66 3.2%
東寝屋川	初乗り	2,348 100.0%	1,885 80.3%	297 12.6%	34 1.4%	35 1.5%	46 2.0%	-	33 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	18 0.8%
	最終降車	356 100.0%	323 90.7%	33 9.3%	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

資料：平成 12 年度大都市交通センサス

図 市内各地からの利用鉄道駅と駅までの主要な交通手段



なお、京阪萱島駅の定期券利用者について、市別の内訳をみると、下表のように寝屋川市が約 58%、門真市が約 25%、その他が約 16%となっており、寝屋川市からの利用者や寝屋川市域への利用者が、約 6 割と最も多くなっています。

表 京阪萱島駅の市別・流出入別・端末交通手段別・定期旅客数（人／日・片道）

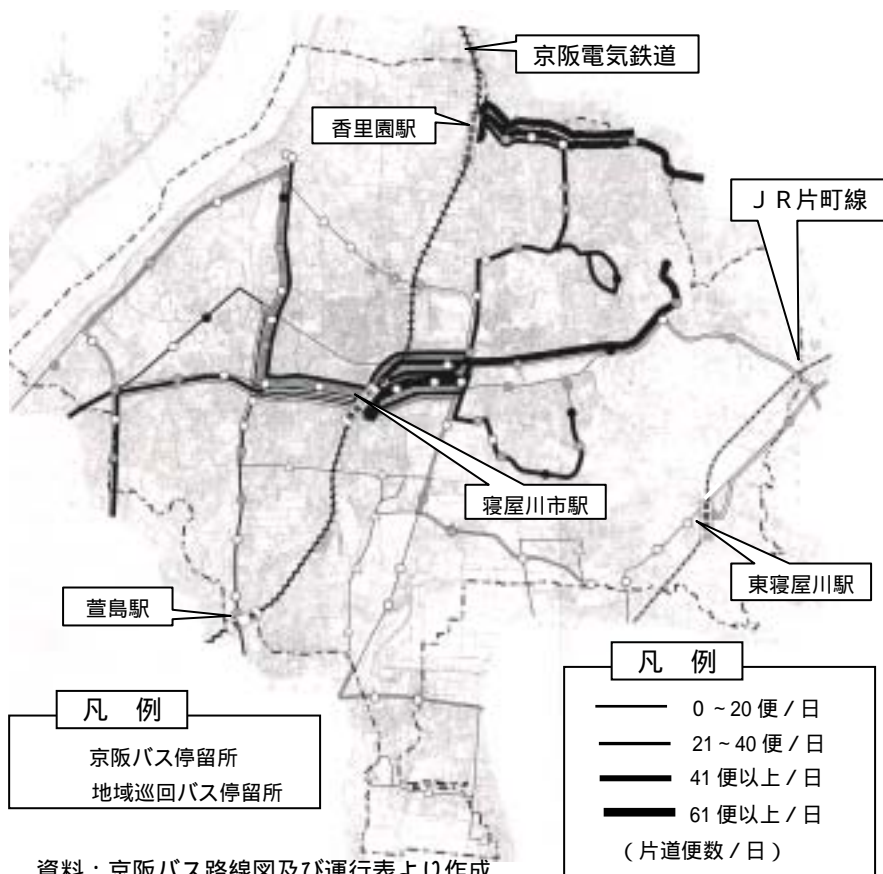
居住地	流出入の別	合計	交通手段別								
			徒歩	自転車	バイク	車（送迎）	車（他）	バス	タクシー	その他	不明
寝屋川市	（市内 市外）	6,817	3,957	2,432	73	35	28	136	0	0	156
	（市外 市内）	678	598	52	0	0	0	0	0	16	12
	計	7,495	4,555	2,484	73	35	28	136	0	16	168
	割合	57.8%	35.1%	19.1%	0.6%	0.3%	0.2%	1.0%	0.0%	0.1%	1.3%
門真市	（市内 市外）	2,980	1,376	1,225	121	50	0	120	0	0	88
	（市外 市内）	229	167	62	0	0	0	0	0	0	0
	計	3,209	1,543	1,287	121	50	0	120	0	0	88
	割合	24.7%	11.9%	9.9%	0.9%	0.4%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.7%
その他	（市内 市外）	951	338	519	12	11	12	48	0	0	11
	（市外 市内）	1,068	994	13	0	0	25	0	0	0	36
	計	2,019	1,332	532	12	11	37	48	0	0	47
	割合	15.6%	10.3%	4.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%
不明	（市内 市外）	136	98	38	0	0	0	0	0	0	0
	（市外 市内）	114	96	0	0	0	0	0	0	0	18
	計	250	194	38	0	0	0	0	0	0	18
	割合	1.9%	1.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
合計	（市内 市外）	10,884	5,769	4,214	206	96	40	304	0	0	255
	（市外 市内）	2,089	1,855	127	0	0	25	0	0	16	66
	計	12,973	7,624	4,341	206	96	65	304	0	16	321
	割合	100.0%	58.8%	33.5%	1.6%	0.7%	0.5%	2.3%	0.0%	0.1%	2.5%

(2) 乗合バス

鉄道を補完する市内の公共交通として乗合バスが、右図に示すように市内を縦横に走っています。特に、これら乗合バスの路線は、京阪香里園駅や寝屋川市駅を中心に編成されています。

京阪萱島駅では、駅から少し離れた府道木屋門真線にバス停留所があり、京阪バスが高柳と寝屋川市駅方面を、近鉄バスがJ住道駅方面と荒本駅方面を連絡するバスが運行しています。

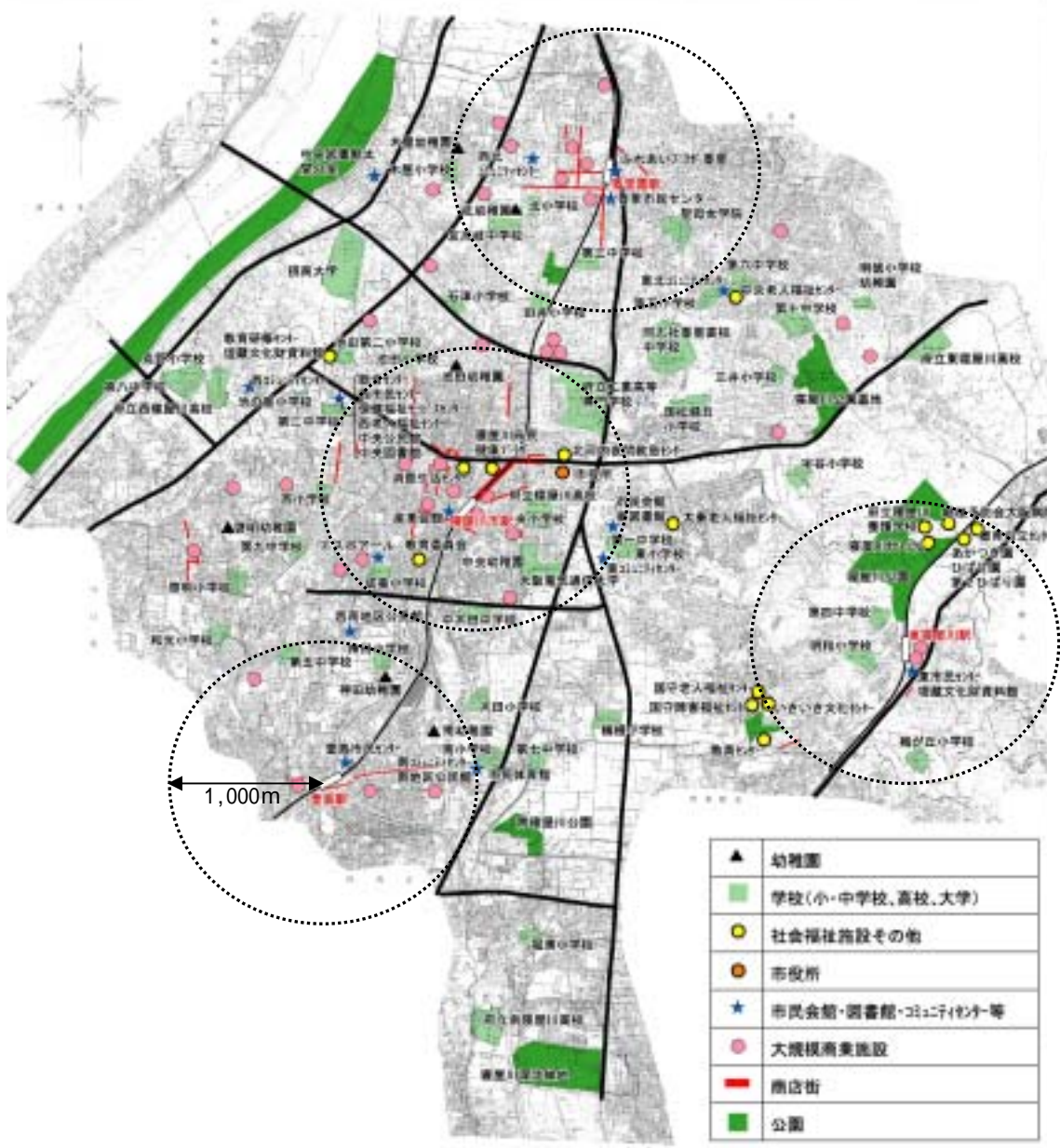
図 乗合バスルート（サービス頻度）図



5 . 市民の利用する主要な施設

市内の公共施設や商業施設など市民が利用する主要な施設をみると下図のようになります。市民の利用する多くの施設は市の中心となっています寝屋川市駅の周辺に集積しています。その他、各鉄道駅周辺にも多くの市民が利用する施設が立地しています。

図 市内の主要な市民利用施設分布図



6. バリアフリーなどに関する市民のニーズ

「第四次寝屋川市総合計画」策定のために、平成10年11月に実施した市民意識調査の結果をみると次のようになっています。

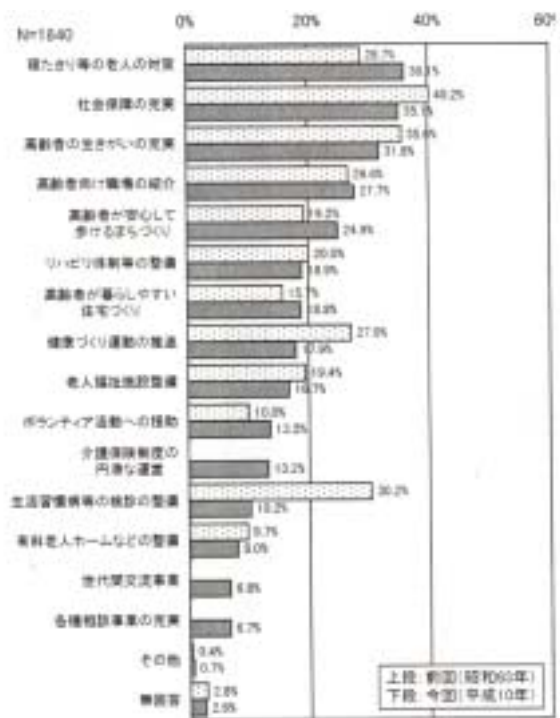
高齢化社会に向けて必要な施策に関する設問において、「痴呆症、寝たきり、一人暮らしの老人のための対策」を望む声が36.1%と最も多く、「高齢者が安心して歩けるまちづくり」については24.9%と5番目に多い要望事項となっています。

「高齢者が安心して歩けるまちづくり」については、60歳代以上の高齢層で要望が多く、70歳代以上では38.5%を占め、最も多い要望項目となっています。

また、前回の総合計画策定時における市民意識調査の結果と比較すると「高齢者が安心して歩けるまちづくり」を要望する人の割合が5%増加しています。

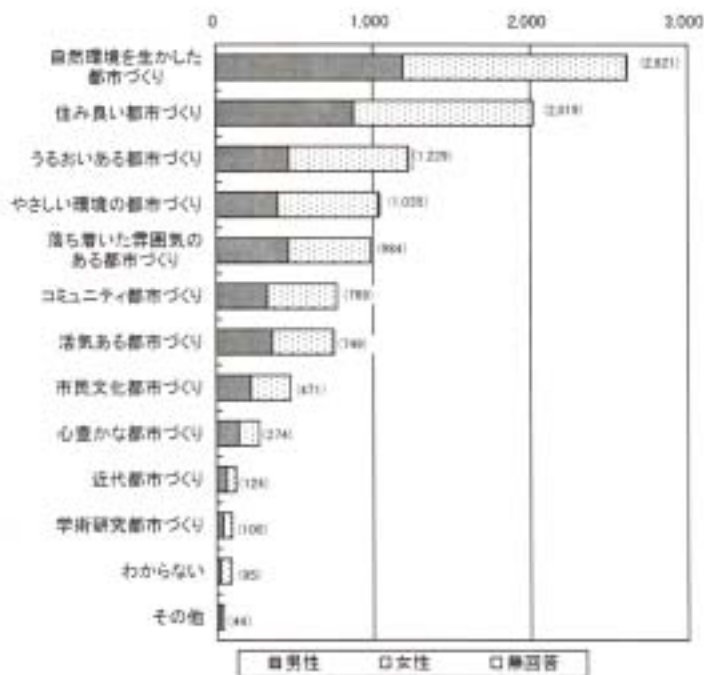
これは、高齢者などにとってより深刻な課題になってきていることや市民の

バリアフリーのまちづくりへの意識の高まりなどによるものと考えられます。

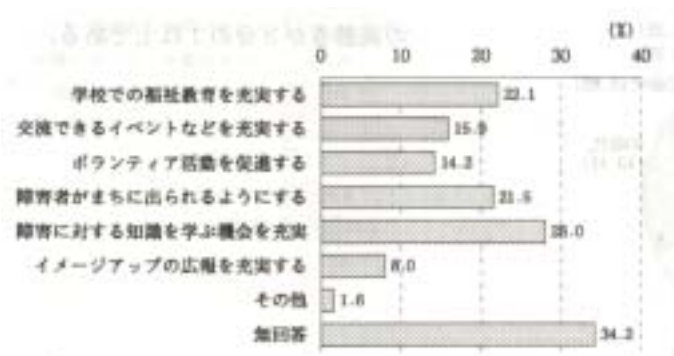


寝屋川市の将来めざすべき方向に関する設問では、「自然環境を生かした都市づくり」が最も多くの意見でしたが、「やさしい環境の都市づくり」についても4番目に多い意見となっています。

すべての人にやさしい環境のまちづくりが望まれていることがうかがえます。



また、身体などの障害者を対象に平成8年2月に実施した「障害者の生活とニーズに関する調査」の中で、市民の福祉に対する意識を高める施策に関する設問では、生涯学習や学校での福祉教育の充実とともに、「障害者がまちに出来るようになる」とことの重要性を指摘する意見が多く、障害を有する人にとってバリアフリーのまちづくりの推進は、重要な要望施策となっています。



7. 寝屋川市の将来計画と京阪萱島駅周辺地区の将来方向

「第四次寝屋川市総合計画 - 新時代 協働・夢プラン - ふれあいいいき元気都市をめざして」では、「21世紀における社会・経済を取り巻く潮流」として、

- ・人口減少と少子・高齢化の進行
- ・地球環境問題の深刻化
- ・高度情報化、通信技術の発展
- ・産業構造の変化
- ・国際化の進展
- ・ゆとりや豊かさへの志向
- ・地方分権への流れ

以上を掲げています。

さらに、これらの潮流を踏まえつつ大阪都市圏・近畿圏における今後の都市化の動向に留意しつつ、広域圏における機能分担と連携を図りながら、独自性を活かした寝屋川市らしいまちづくりが求められていることから、次のような「まちづくりの課題と視点」を掲げています。

市民が主役のまちづくり
パートナーシップのまちづくり
持続的発展ができる都市へ
生活・公共空間の質的向上
施策の連携と総合性の追求

これらの「まちづくりの課題と視点」を踏まえ、「市民、事業者、行政がともに協働の輪を育て、それぞれが元気を出して活動し、まちの元気を生み、すべての人々に生きる元気を育み広げていくような寝屋川市を創っていくこと」を基本理念に、

ふ れ あ い い き い き 元 気 都 市 ・ 寝 屋 川

を「まちの将来像」としてしています。

「まちの将来像」を実現していくための「まちづくりの基本目標」として、

元気でいきいき活動できるまちづくり
安全で安心してらせるまちづくり
文化を創造し生きる力を育むまちづくり
くらしを支える活力あるまちづくり

を掲げ、「まちづくりのフレーム」として、平成22年の人口を25万人と想定しています。

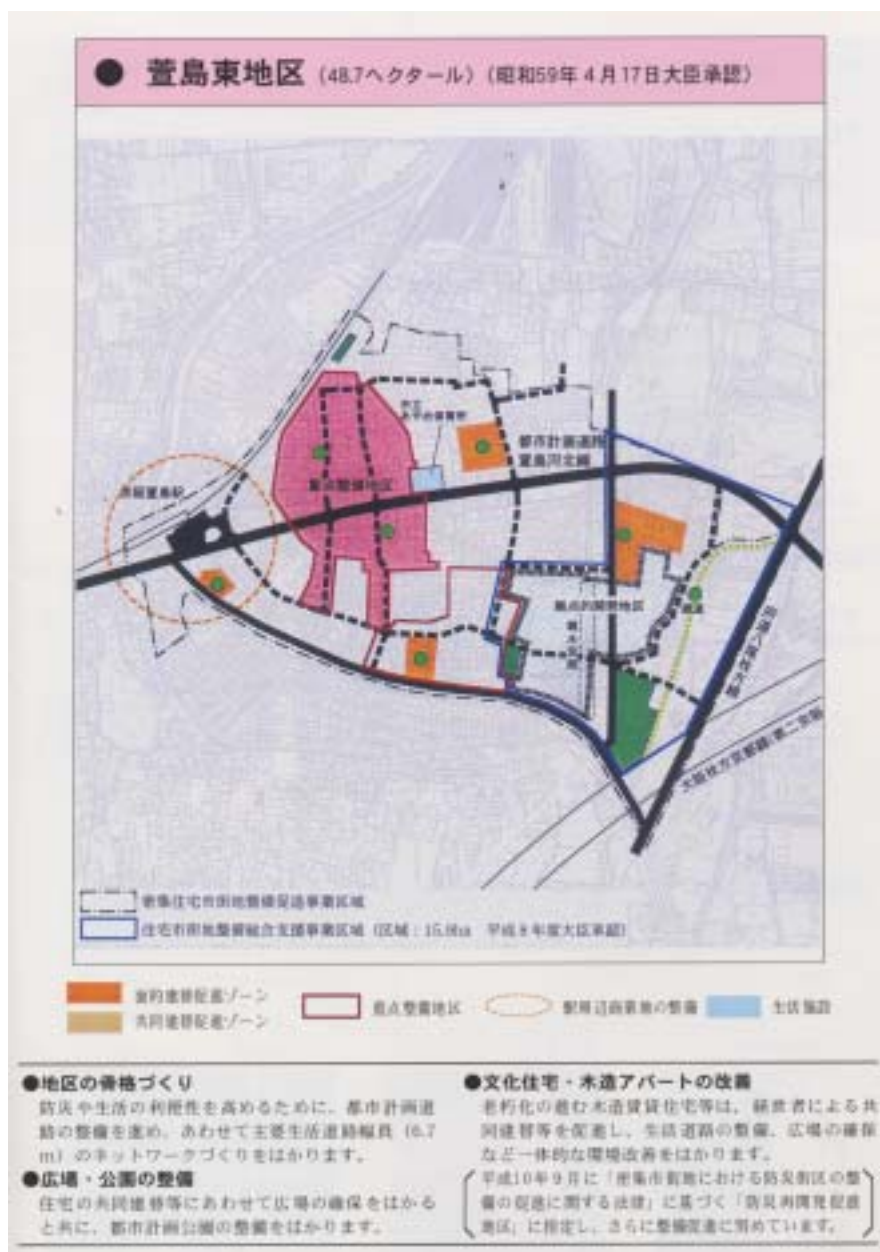
このような本市の将来像を実現していく施策の中で、京阪萱島駅周辺地区のまちづくりの方向を次のように示しています。

京阪萱島駅周辺のまちづくりの方向

商業機能を高め、寝屋川や駅構内の楠の木などをシンボルとして、本市の南核としての形成をすすめます。

なお、京阪萱島駅東側の地域については、昭和59年4月に大臣承認を得ている「密集住宅市街地整備促進事業（過密住宅地区整備要綱）」（右図参照）における整備計画にしがたい、現在、まちづくりを推進しています。

また、京阪萱島駅東側の地域については、平成16年5月に「都市再生特別措置法」において、次の地域整備方針にしたがい整備を推進する「都市再生緊急整備地域」に指定されています。



都市再生緊急整備地域の地域整備方針（整備の目標）

高度成長期の大阪への人口集中等に対応するため、長屋建てなどの木造賃貸住宅密集市街地として形成された京阪萱島駅東地域において、老朽住宅の共同化、協調化等による更新を進め、良好な住環境の確保と災害に強い住宅市街地を形成していく。